

真高寺だより

第24号

平成27年8月1日発行

発行所：真高寺（伊澤孝順住職）

住 所：市原市飯給1143

電 話：0436-96-0058

*発行責任者 根本 貞夫

*編集責任者 木村 康



道元禅師のおことば

「此行持あらん身心自らも愛すべし、自らも敬うべし、我らが行持によりて諸仏の行持見成し、諸仏の大道通達するなり」

『正法眼蔵』（行持）

お言葉の意味

仏の心を心とし仏の行いを行いとすることが出来るこの身心は愛すべく、また敬うべきものである。我々が修行を保ち続けければ諸仏の行持があらわれ、諸仏の大道が通じ達するものである。

手を合わせましょう

総代会長 根本 貞夫



今年もお盆の季節が巡って参りました。皆様には日頃から真高寺にご支援ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

お盆は、今は亡きお世話になった人々に改めて心を寄せ感謝することで、また新しく一步を踏み出そうという、そんな行事だと思います。是非、山門施食会にご参加下さい。そして、静かに手を合わせましょう。

テレビからは毎日のように、温暖化や地震、火山の噴火、悲惨な事件、事故等のニュースが流れ、地球の未来は大丈夫なのかと憂えることが多くなりました。

あきらめずに希望を持ち続ける人には未来を明るく変える力がある……そんな映画があります。未来に希望が持てるような、若者がたくましく輝けるような、そんな世の中になることを念じつつ、合掌。

施食会について

住職 伊澤孝順



早いもので、もうお盆の季節となりました。毎年、猛暑の7・8月に施食会を行持しますが、餓鬼供養とは、お釈迦様の十大弟子の一人で多聞第一と尊称される阿難尊者^{あなんそんじゃ}が、ある時、焰口餓鬼^{えんく}から尊者に対して、「あなたは3日後に死ぬ」と告げられ、如何にすれば救われるかとお釈迦様に尋ねると「一皿の食物は無量となりすべての餓鬼を施すことになる」と言われ飲食を施すことに依って尊者の命は助かることになりました。この事柄が施食会の始まりです。

盂蘭盆会^{うらんぼんかい}とは、お釈迦様の十大弟子の一人で神通第一の目蓮尊者^{もくれん}が、亡き父母の死後の世界を見通すと母親が餓鬼道で苦しんでいて、尊者が口に入れる前に炎と化してしまい、そこで、お釈迦様に尋ねると7月15日の修行僧達による自恣^{じし}（自己反省して懺悔すること）の時に母親のために供養する事に依って餓鬼道の苦しみの世界より救われるだろうと言われ、多くの修行僧に飲食を施すことで母親は昇天することになりました。

都心の施食会は、5月の頃から行われ7月13日から15日までお盆の棚経を行います。これを新盆と称します。

地方の場合は、8月13日から15日まで棚経を行じ、これを旧盆と称します。そして15日より24日まで各寺院にて大施食会を行います。ただ地域の習慣によって施食会のしきりも変わってきます。

山内あれこれ

松本総代、木村総代 ありがとうございました



松本隆允さん



木村孝一さん

長年に渡り飯給地区の総代を務められたお二人が退任されました。お二人とも山門解体修理事業等お寺のために多方面に渡りご尽力頂きました。

また、木村孝一さんは『真高寺だより』を創刊から手がけ長きに渡って一人で担当されました。ありがとうございました。

松本隆允さんの後任には田邊常容さんが就任されます。



田邊常容さん

皆様のご寄進に大感謝

花の寺も間近

新たに桜の苗木（御殿場桜）5本を佐久間造園さんが奉納してくださいました。



猛暑の施食会(施餓鬼)に涼風が



柿木台の小澤平治さんと飯給の松本貞良さんが空調設備を6台本堂に設置して下さいました。

先代住職 渡邊老師安らかに



先代住職、渡邊哲也老師が遷化されました。

平成27年1月8日に渡邊哲也老師（真高寺33世清潭^{せいたん}哲也大和尚）が世寿85歳にて遷化されました。

その後、4月3日の花まつりと檀信徒祖先供養の時に、渡邊八重子夫人を招いて真高寺役員数人と共に、歴住の墓所に墓石を安置して開眼供養をすませ、老師の生前を忍ぶ会を催しました。



施食絵(施餓鬼会)のお知らせ

霊園檀信徒の皆様は、7月13日(月) 午前10時開式となります。また根檀家の皆様は8月15日(土) 午前9時より開式となります。共に年に一度の山門大施食会を行う大事な行事です。その後に新盆家施食会を執り行いますので皆様のご来山をお待ちしています。



お盆の塔婆、^{ふじゅもん}諷誦紋の申し込みはお早めに！

諷誦紋については、例年施食会の開式直前に申し込まれる方が多く、名前の読み上げに間に合わなかったり、申込者氏名の張り出しが遅れて苦情を受けることがあります。役員一同誠意をもって対応しておりますが、なにぶんご迷惑をお掛けすることがありますことをご承知おき下さい。





今年の新盆家



霊園檀信徒

秋 山 英 輝 家

黒 田 輝 幸 家

加 瀬 良 子 家

仲 村 みち子 家

森 田 稔 家

木 下 陽 子 家

渡 邊 真由美 家

二 村 あい子 家

田 中 伸 一 家

斎 藤 かつ子 家

板 倉 伸 三 家

涉 里 留美子 家

横 山 雄 一 家

根檀家信徒

鈴 木 榮 家

石 渡 與市郎 家

桐 木 常 年 家

木 村 彌 家

田 中 康 人 家

原 田 好一郎 家

小 澤 平 治 家

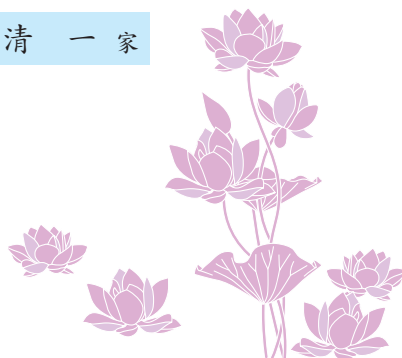
松 本 貞 良 家

四 倉 光 男 家

河 邊 芳 雄 家

東 城 清 一 家

新盆家皆様方に衷心より哀悼の誠を捧げます。



檀信徒の皆様へ



ご貴家で万一ご不幸がありました時には、必ず寺へ、ご一報下さるようお願い致します。

また、寺にご意見やご不明な点がありましたら、遠慮無く手紙や葉書、あるいはファックスなどでお知らせ下さい。

編 集 後 記

真高寺だよりの編集を依頼されて、時間的猶予は11日間。原稿や写真は、ほぼ揃えられていましたが、難解な仏教用語、更に旧字体ときはワープロも変換してくれません。変換は一字ずつ、漢和辞典のお世話になりながら行いました。

前任の木村孝一さんの様にはできませんが、よろしくお願いします。

木村 康

